第８５回中央メーデー集会へのメッセージ

　　第８５回中央メーデー集会にあたり、メッセージをお送りします。

　　ＴＰＰは、ご承知の通り、例外なき関税撤廃を原則とし、わが国の農林水産業に深刻な打撃を与えるものであります。そればかりでなく、食の安全・安心、医療、保険、ＩＳＤなど国民生活に直結した問題を含み、国の主権を揺るがしかねない重大な問題を含んでいます。

　　ＴＰＰ交渉全体の進展は、日米二国間の物品市場アクセス交渉や自動車協議の動向が鍵を握るとされるなか、４月２４日に日米首脳会談が開催されましたが、大筋合意に至らず、引き続き協議を継続することとされました。

　　他方、日米共同声明においては、「ＴＰＰに関する二国間の重要な課題について前進する道筋を特定した」と明記されており、これを受けて安倍総理はＴＰＰ交渉全体を早期に妥結させるとの意欲を示しています。

　　こうした中、五月中旬のＡＰＥＣ貿易大臣会合を機に、首席交渉官会合や閣僚会合の開催が検討されている模様であり、交渉は予断を許さない状況が続きます。

　　ＴＰＰは、わが国の「食と暮らし・いのち」に大きな影響を及ぼす問題であり、実質的に政府方針となっている平成２５年４月の衆参農林水産委員会の決議が必ず実現されなければなりません。

　　我々は、今後とも、広範な国民各層と連携を深め、国会決議の実現に向けた徹底した運動に全力を挙げる決意であることを申し上げるとともに、ご参集のみなさまの益々のご発展をご祈念し、メッセージとさせていただきます。

平成二六年五月一日

全国農業協同組合中央会

会　長　　萬　歳　　章